

秋田市教育委員会
会 議 録

平成30年4月定例会

秋田市教育委員会平成30年4月定例会会議録

- 1 日 時 平成30年4月6日(金)
午後3時30分～午後4時50分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
学事課長補佐
学事課副参事
学校教育課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
生涯学習室主席主査
総務課主査
総務課主任

5 議 題

【付議案件】

- 議案第12号 平成30年度秋田市の教育について
議案第13号 職員の人事について承認を求める件
議案第14号 秋田市教育委員会事務局職員および学校その他教育機関の職員
の細職名に関する規則の一部を改正する件

【開 会】

【職員紹介】

教育次長から、4月1日付けの人事異動後の幹部職員の紹介が行われた。

【平成30年3月定例会会議録の承認】

平成30年3月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

- 議案第12号 平成30年度秋田市の教育について

教育長 議案第12号について事務局から説明願う。

総務課長 教育委員会では、「秋田市教育ビジョン」を教育行政の基本方針としており、これに基づく当該年度の主要な施策・事業とあわせて毎年度「秋田市の教育」として議決をいただいている。資料では、前半部分が「秋田市教育ビジョン(概要版)」、後半部分が平成30年度主要な事業をまとめた「平成30年度の主要な施策・事業」の2部構成となっている。

前半の「秋田市教育ビジョン(概要版)」については、ビジョンの主要な項目を整理、集約したものであり、本

日は秋田市教育ビジョンの内容の説明は省略するが、ビジョンに掲げる本市教育の目指す姿、「郷土あきたの明日を拓く「自立と共生」の人づくり」の実現に向け、各種施策の推進と充実に取り組むものである。

今年度の主要な事業等については、14ページ以降の「平成30年度の主要な施策・事業」と題した部分で説明する。資料の構成は、新たな教育ビジョンの施策体系に沿って調製している。

学校教育課長
学校適正配置推進室長
学事課長
総務課長
生涯学習室長

(資料に基づき説明)

委員

これまでも学校は地域とともに活動してきたという経緯があるが、コミュニティスクールの導入はこれまでどのような違いがあるのか。

学校教育課長

これまでも学校は地域の方々と一体となって開かれた学校作りに取り組んできたところであるが、コミュニティスクールは、法的には学校運営協議会制度という位置付けであり、平成29年4月から設置が努力義務となった。これまでとの変更点を挙げると校長の経営方針に則って学校経営が行われているが、コミュニティスクール化により、校長が思い描く経営方針を運営協議会の委員に示し、承認を得た上で、学校経営が行われることとなる。

委員

実際は起こりにくいかと思われるが、運営協議会から経営方針に対して否定的な意見が出た際には、経営方針の修正等は図られるのか。

学校教育課長

例えば地域連携の視点で、学校が考えている行事の内容について意見が出ることが想定されるが、以前からも学校とPTAや地域の方々とですり合わせをした上で実施し

ているため、大きな修正が生じることはないかと思われる。

- 教育長 コミュニティスクールの導入によるメリットは何か。
- 学校教育課長 学校側の説明責任が果たされることや、明確な経営方針を地域や保護者に示すことにより学校の活動の点検・評価が図られる。また、意見をもらうことにより考え方が多様化し、学校の活動の幅も拡大するといったことが挙げられる。
- 教育次長 現状では町内会長等、地域の方々に学校評議員に加わっていただき意見を伺っているが、新たに地域の団体の長に加わってもらうことにより、その団体との結びつきが強くなることや、その団体に対して支援の依頼がしやすくなるといったメリットもある。
- 教育長 コミュニティスクールの導入により、地域からの支援が手厚くなるということも考えられる。
- 委員 地域の団体とはどういったものが考えられるのか。
- 教育次長 民生児童委員協議会やPTA、体育協会等である。
- 委員 ICTジュニア育成事業について、講座の募集人数、開催期間、講座の内容等はどうなっているか。
- 生涯学習室長 小学生については、30名を対象に1日3時間の講座を2日間開催予定である。スクラッチ等のビジュアルプログラミング言語を使用し、プログラミングの基礎を学ぶ講座を予定している。
- また、中学生については、30名を対象に1日5時間の講座を6日間開催予定である。スィフト等の言語を使い、スマートフォンアプリの作成を通じてプログラミングの基礎から応用までの内容を学べる講座を予定している。
- 委員 民間の会社でもプログラミングの講座を開催しているが、民間との違いは何か。
- 生涯学習室長 民間で開催している講座は有料で料金が高く設定されているものもあるが、本市で開催する講座は無料で受講

可能である。

- 教育長 講座の指導者にはどのような人物を想定しているか。
- 生涯学習室長 プロポーザルにより業者を決定する予定である。
- 教育長 秋田市内の業者を対象とすることでよいか。
- 生涯学習室長 そのとおりである。
- 委員 小学校の警備員の配置について議会から代替案を求められている件で、学校に警備員が1人配置されているだけでも不審者等の対策の抑止力となる上に、安心感もあり、警備員の配置により得られる効果は非常に大きいと思われる。代替案として、単に地域のボランティアやPTAに頼るということは、対応できる人も多くないことから避けるべきであり、対応可能な範囲で、これまでどおり警備員の配置を継続できるような方法を検討してほしい。
- 学事課長 代替案については、現在未定であるが、地域や学校との協議の中で様々な方法を模索していきたいと考えている。
- 委員 警備員の配置は単に不審者対策のみではなく、クマ対策といった地域全体の安心にもつながると思われるため、そうした点も踏まえて代替案の検討を進めてほしい。
- 委員 秋田県では本市のみが警備員を配置しているという話を聞いたが、全国的に本市と同規模の人口を持つ自治体ではどのような対応を取っているかといったことも調査した上で検討していくべきと考える。
- 教育長 他都市の対応については調査しているのか。
- 学事課長補佐 中核市を対象とした不審者対策に関する調査を実施したところ、防犯カメラを設置している自治体が19市、各教室に不審者対策用のインターホンを設置している自治体が2市となっており、警備員の代替として機械による対策を取っている自治体が多い状況にある。一方で警備員を配置している自治体は、47中核市中3市という状況であり、このような調査内容を踏まえ、代替案を検討し

ていく。

委員 秋田市児童生徒の防犯に関する連絡協議会において、課題・成果等の状況はどうなっているか。また、関連してスクールガードの講習会の受講の状況はどうなっているか。

学事課長補佐 同協議会において、見守り隊についての議題が挙げられている。見守り隊については、各小学校で最低でも一つは組織されているところであるが、活動状況に学校間で温度差があり、いかに活動を活性化させていくか検討している状況にある。

また、スクールガードの講習会については見守り隊に積極的に参加している方が講習会にも参加しているような状況であり、参加者が固定化していることが課題となっている。

委員 読書の記録帳について、事業の内容や事業実施に至った経緯を教えてほしい。

学校適正配置推進室長 読書の記録帳とは、児童が通帳を専用の機械に入れることで、図書の貸出履歴が印字されるものである。

事業実施に至った経緯は、1点目に図書館のシステムの更新に伴い、図書の貸出履歴の管理が可能となったためシステムの機能の有効活用を図ること、2点目に他都市で同様の事業実施により、児童の読書に対する興味の誘発効果があったことから本市での事業実施につながったものである。

委員 各市民サービスセンターで開催している教室・講座等の参加状況はどうか。また、各教室・講座に参加している方々は生涯学習手帳を活用しているのか。

生涯学習室長 平成28年度の実績として、112回講座が開催され、延べ2万1,292人の参加者であった。しかし、全ての参加者が生涯学習手帳を保有している訳ではないことから、今後PRに努めていきたい。また、生涯学習手帳の保有率につ

いては現在データを保有していない。

委員 参加者は2万1,292人とのことであったが、募集人数に対してどれくらいの参加率なのか。

生涯学習室長 募集定員をほぼ満たしている状況である。

委員 食育の推進について、学校訪問指導や研修に対応する課所が学校教育課および教育研究所にまたがっているのはなぜか。

学校教育課長 学校への指導と教職員への研修を同時に扱うため、両課所で連携して推進に当たっている。

委員 予算が8千円となっているが、事業実施に支障はないか。

学校教育課長 事業内容が訪問指導であるため、予算は少額となっている。

委員 学校司書配置事業について、これまでの図書館サポーターとの違いは何か。

学校教育課長 これまで実施してきた図書館サポーターは1か月の事業実施計画をその都度立てていたが、学校司書配置事業では、毎週の訪問日時があらかじめ決まるため、学校として計画を立てやすいといったメリットがある。

※ 議案第12号については、全員賛成により議決された。

議案第13号 職員の人事について承認を求める件

教育長 議案第13号について事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第13号については、全員賛成により議決された。

議案第14号 秋田市教育委員会事務局職員および学校その他教育機関の職員の細職名に関する規則の一部を改正する件

教育長 議案第14号について事務局から説明願う。
総務課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第14号については、全員賛成により議決された。

【その他、今後の日程についての報告】

委員 群馬県前橋市の教育委員会で個人情報の漏洩があった件について、本市においては問題はないか。

学事課長 前橋市においてはファイアウォールの更新がされていなかったことが情報漏洩につながったとの報道であるが、本市においては、給食のシステムについては、インターネット接続がされておらず、サーバーについても本市のサーバー室にあることから、外部からの侵入は不可能であるため、情報漏洩に関しては問題ないものとする。

教育長 今後の日程等について、事務局から報告を願う。

総務課長補佐 今後の日程について、5月定例会は5月24日(木)午後3時30分からの開会を予定している。

教育長 5月定例会は5月24日(木)午後3時30分からの開会を予定している。委員の皆様、日程調整をよろしく願います。

午後4時50分閉会

※ その後、5月定例会の日程は5月25日(金)午後2時30分からに変更された。